

No.	010	—	2010	事務事業名	各種予防接種事業		細事務事業名	四混・MR・日本脳炎・結核・水痘等		公的関与	1		
PLAN	課名	健康推進課		係名	母子保健係		電話番号	964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	全部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度	～ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(5)難病・感染症対策の推進				
	事業の対象	生後2～90か月に至る者、小学6年生（11歳以上13歳未満）、9歳以上13歳未満、65歳以上、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（風しん抗体検査陰性者）他					根拠法令	予防接種法					
	事業の目的	最終的	定期予防接種の接種率を95%以上にし、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与します。				今年度	予防接種に関する周知・啓発に努めます。また、医療機関等と連携し、安全で効果的・効率的な体制整備を行い、定期予防接種の接種率向上を目指します。					
	活動内容	①	予防接種の目的・方法・効果及び副反応等について乳幼児健診等の機会を利用して、周知・啓発に努めます。				④	関係機関と連携することにより、予防接種の勧奨に努めます。					
		②	広域化で契約をしているため、愛媛県予防接種広域化協議会の内容をもとに、効果的・効率的に定期予防接種を実施します。				⑤	東温市医師会と連携し、予防接種についてタイムリーで正確な情報を市民に提供するように努めます。					
		③	対象年齢内に接種するよう、未接種者把握をし、個別通知を行う。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標		
		結核	全接種者数/全対象者数			%	目標	100	100	100	100		
実績							101	103					
麻しん風しん1期		全接種者数/全対象者数			%	目標	95	95	95	100			
						実績	103	87					
麻しん風しん2期		全接種者数/全対象者数			%	目標	95	95	95	100			
	実績					96	93						
ODO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生					費	
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	2,905 千円	3,101 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	79,671 千円	79,712 千円	95,170 千円								
	計(A)	79,671 千円	82,617 千円	98,271 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.340 人	2,085 千円	2.853 人	17,806 千円	2.900 人	18,113 千円					
		臨時職員工数・経費	0.603 人	1,197 千円	1.687 人	3,352 千円	0.719 人	1,426 千円					
	全体事業費(A+B)	82,952 千円		103,775 千円		117,810 千円							
一次評価者	母子保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	定期予防接種は予防接種法で実施することが定められています。予防接種の接種機会を安定的に確保し、一定の接種率を確保することが重要です。												
有効性	現在、予防接種については全て個別接種で実施することができており、対象者が接種しやすい環境にあると考えられます。												
達成度	医療機関及び保育所等関係機関と連携を図り、ワクチンの有効性と副反応等の情報提供、接種勧奨に努め、各予防接種の接種率は維持されています。												
効率性	県内広域化にて定期予防接種を実施しており、対象者は市外の医療機関においても接種が可能です。里帰り等で県外に滞在された方には、予防接種費用助成事業を実施し、予防接種を受けやすい環境を整備しています。												
当面の課題	例年、接種率を確認しながら、接種勧奨を行っているところである。引き続き、実施するところであるが、同時に予防接種に伴う健康被害（副反応）に関わる接種事故防止を行う必要がある。												
改 革 計 画	個別の案内通知や広報等により、適切な情報提供と周知を行う。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	引き続き個別の勧奨等を丁寧に行う必要があります。また、まん延防止の観点から、県下市町で足並みを揃えた取組がされており、今後も広域的な連携体制を維持する必要があります。												